

沿革

組織・ネットワーク

- 昭和23年 農業協同組合法に基づき北海道信用農業協同組合連合会を設立
- 昭和27年 資金量50億円達成
- 昭和29年 農林漁業金融公庫資金取扱開始
- 昭和30年 資金量100億円達成
- 1955
- 昭和35年 稚内支所開設
- 1960
- 昭和38年 資金量500億円達成
住宅金融公庫資金取扱開始
- 昭和41年 系統内国為替取扱開始
- 昭和42年 資金量1,000億円達成
本所事務所、共済ビルへ移転
- 昭和47年 農業者年金基金資金取扱開始
- 昭和48年 貯金・為替業務のオンライン化
農水産業協同組合貯金保険制度発足
農協信用事業相互援助制度発足
- 昭和49年 農協信用事業相互援助制度発足
- 1974
- 昭和53年 資金量5,000億円達成
定期性貯金オンライン化
国民金融公庫進学資金取扱開始
- 昭和54年 全国銀行内国為替制度加盟
- 昭和57年 北海道信連事務センター完成
- 昭和59年 農協信用事業オンラインシステム稼働
北海道信連サービス(株)設立
- 昭和60年 全国農協貯金ネットサービスシステム稼働
- 1985
- 昭和61年 資金量1兆円達成
系統自動決済サービスシステム完成
国債等代理窓販業務開始
- 昭和62年 貸出金オンラインシステム稼働
- 昭和63年 北海道キャッシュサービス取扱開始
- 平成元年 受託資金オンラインシステム稼働
信連日計システム稼働
- 平成2年 都銀、地銀とのCDオンライン提携
国債窓販システム稼働
- 平成3年 (株)ジェイエエネット北海道設立
第二地銀、信金、信組、労金とのCDオンライン提携
- 平成4年 農協信用事業収益管理システム稼働
- 平成5年 研修センター完成
貸出取引先管理システム導入
- 平成6年 国債等窓販業務取扱開始
- 平成7年 手形管理システム導入
- 1995
- 平成8年 貸出票議システム導入
農協信用事業新オンラインシステム稼働
- 平成9年 信託代理業務取扱開始
- 平成10年 東京連絡事務所閉鎖・倶知安支所を札幌支所に統合
FBサービス取扱開始
- 平成11年 留萌支所および稚内支所を旭川支所に統合
外貨預金取扱開始
投資信託窓販業務取扱開始
後配出資による資本調達
- 平成12年 中標津支所を釧路支所に統合
- 2000
- 平成13年 郵便貯金とのCD・ATMオンライン提携
北農ビルおよびJAパーキング竣工
インターネットバンキングサービス取扱開始
- 平成14年 JAバンクシステム発足
経営管理委員会制度導入
- 平成15年 函館支所および苫小牧支所を札幌支所に統合
環境負荷低減活動に着手
- 平成16年 永久劣後ローンによる資本調達（第一次）
決済用貯金導入
永久劣後ローンによる資本調達（第二次）
- 平成17年 ペイオフ全面解禁
印鑑照会システム稼働
- 2005
- 平成18年 JAバンク新システム（JASTEMシステム）
開通
- 平成19年 資金量2兆円達成
新会内ネットワークシステム稼働
農業融資研究会立ち上げ
- 平成20年 普通出資・後配出資による資本調達
- 平成21年 格付自己査定システム導入
- 平成22年 JASTEM次期システム移行完了
- 2010
- 平成23年 農業法人セミナー・交流会の開催
- 平成24年 岩見沢支所窓口業務を本所へ移管
- 平成25年 新会内ネットワークシステム稼働
北見・釧路支所窓口業務を本所へ移管

